

九十九里町立中央公民館 太巻き寿司教室



講座のねらい①

サークル数を増やしたい！

九十九里町立公民館は社会教育法に基づく施設として、町民の教養の向上と健康増進を目的に運営しておりますが、人口の減少とともに、サークル数も年々減少している現状です。

そこで、講座から自主的運営につながることを目標に、毎年ニーズにあわせた講座の企画を行っています。学習機会の提供を行い、生涯を通じての【学びあい 生きがいづくり 町づくり】をモットーに心身共に健康なまちづくりを目指します。

講座のねらい②

次世代に伝えたい 千葉県の文化と技術

昨年度から開催している「太巻き寿司教室」は、たくさんの人に作り方を体験してもらい、“千葉県の郷土料理”の文化と技術を伝承していきたいというねらいがあります。すぐに定員に達してしまう大人気の講座です。



講座の内容

- 講師 板倉 よし子先生
- 会場 九十九里町立中央公民館 調理室
- 令和5年度 受講者数 24名 計10回
絵柄…さざんか、バラ、紫陽花、蝶、椿、
四海巻き、ぶた、梅、桜
- 令和6年度 受講者数 18名 計10回を予定



山ごぼうや野沢菜、玉子、桜でんぶなどの具材を使い、巻き寿司の切った断面が花や動物などの絵柄になるように作成します。

「どのように配置したら絵柄ができるか」と考えながらの難しい作業ですが、色鮮やかに表現される巻き寿司はまさに芸術。

栄養士である知識豊富な講師が、毎回絵柄の選定を行い、丁寧に指導します。



参加者の声

- ・以前より千葉県の文化の一つである「太巻き寿司」に興味があったが自分で作ることはなかった。公募をみて挑戦しようという気持ちが出た。
- ・今まで自己流で作っていたが、指導を受けたいと思った。参加してよかった。
- ・材料や酢の調合を覚えて参加した。様々な模様を覚えられるので毎月楽しみ。
- ・毎回必死なので、初心者コースがあるとよい。
- ・店先に並んでいるとつい手に取りたくなるほど「太巻き寿司」は美しいと思っていた。倍率が高いため参加できてうれしい。腕前も上がるように頑張りたい。
- ・作成は難しいが、完成すると感動する。
- ・季節ごとにたくさんの模様があることを知り、昔の人の知恵と工夫にますます興味がわいた。
- ・1年の長いスパンだけでなく、短期間の講座があると参加しやすい。
- ・模様をどう作るのか興味があり参加した。作れるようになり嬉しい。

講師より

- ・たくさんの人に作り方を体験してもらいたい気持ちです。受講生は、回を重ねるごとに「太巻き寿司」の作成に慣れてきました。今後も楽しく学んでほしいと思います。

成果

- ・令和7年2月まで講座は続きますが、出席率と満足度が高い講座となっています。郷土料理にますます興味を持ったという意見があり、公民館として“学びあい”の場を提供できたと思います。

課題

- ・目標であるサークル化できるよう、様々なジャンルの講座を企画します。（住民からは外国語、フラワーアレンジメント、水引飾り等の案が出ています）
- ・毎年講師の確保が難しい状況です。
- ・「太巻き寿司」のような文化を若い世代にも伝えるために、気軽に参加してもらえよう企画が必要です。短期間開催の講座も検討します。